

体験授業について

体験授業は3コマ6つの授業があります。1コマにつき、どちらか1つを受講した場合、最大3つの授業を受講できます。

※申込み状況により教室の定員をオーバーした場合は、希望された科目を受講できないこともあります。

☆時間割☆

コマ	時間	教員名		専門分野
A	11:10~ 12:00	A - 1	福田 稔 (教授)	英語学
		A - 2	川瀬 和也 (助教)	哲学
B	12:10~ 13:00	B - 1	梅津 顕一郎 (准教授)	情報社会学
		B - 2	野崎 秀正 (准教授)	教育心理学
C	13:10~ 14:00	C - 1	有馬 晋作 (教授)	行政学
		C - 2	田中 宏明 (教授)	国際関係論

☆体験授業の概要☆

A-1 英語学『英文法トリビア — 英語の疑問にお答えします』 【福田 稔 教授】

基本的なことを問うことはとても重要です。例えば、こんな疑問を抱いたことはありませんか？ 全ての英単語で一番良く使われるのは何？ 名詞 cat はなぜ可算名詞なの？ John's book (ジョンの本) のアポストロフィーは何を省略しているの？ 名詞・動詞よりも主語・目的語・補語という文法用語の方が難しいのはなぜ？ 関係代名詞 that の先行詞は人でも物でも良いのはなぜ？ 仮定法過去の be 動詞が主語の数・人称に関係なく were になるのはなぜ？ 受動文と完了形は意味が違うのにどちらも過去分詞を使うのはなぜ？ このような疑問への答えを解説しながら、英語の仕組みを解き明かす英語学という研究分野を紹介합니다。

A-2 哲学『あなたの心はどこにある？～心の哲学入門～』 【川瀬 和也 助教】

「哲学」と言うと、昔の偉人たちの名言を集めたもの、のようなイメージをお持ちの方が多いかもしれません。しかし、大学で学ぶ哲学はそのようなものではなく、さまざまな疑問について、徹底的に考え抜くことです。

この体験授業では、私たちの「心」について、哲学の視点からお話します。「心があるなんて幻想で、本当はすべて脳のはたらきだ」と言われると、何となく反発したくなってしまいう人も多いでしょう。しかし、「心と脳には何の関係もない」と言い切るのも非科学的に思えます。「心」をめぐるこの問題について、一緒に考えてみましょう。

B-1 情報社会学『「自分探し難民時代」を生きる若者たち～社会学から見た現代の高校・大学生像～』 【梅津 顕一郎 准教授】

将来の夢を持っていますか？ 今の自分に自信がありますか？ 地域や社会のために役に立つ人間になりたいと考えていますか？ —こんな質問を大人たちから投げかけられた経験、高校生なら誰でもあるでしょう。その時、皆さんはどう答えたいでしょうか。

社会のために頑張りたいと思うけど、将来の夢は漠然としてまともならず、今の自分には自信が無い—そんな若者が今増えているそうです。でも重要なことは、君たちの自信の無さは、必ずしも君たち自身の心の弱さに起因しているわけではないということ。若者がしっかりと将来を考えるような場も、安心して活躍していける場所も準備していない、大人社会のありかたに根本問題があると指摘する学者は多いのです。今回の授業では、社会学の立場から、このような社会の問題についてお話しします。そして、こんな時代にもしっかりと自分らしく生きるにはどうしたらいいのか?について考えていきます。

B-2 教育心理学『学ぶ意欲の心理学—より良く学ぶために必要なこと—』 【野崎 秀正 准教授】

—昔前、「やる気スイッチ」という言葉が流行りましたが、人はどういうときにやる気になるのでしょうか？ また、「やる気」の量だけではなく、質の違いもあるのでしょうか？ このような「やる気」や「意欲」について、教育心理学では「動機づけ」という分野でこれまで研究が進められています。この授業では、教育心理学において動機づけがどのように研究されてきたのかを簡単に紹介し、より良く学ぶために必要な条件を一緒に考えていきます。みなさん自身が普段経験している「学び」に対する考え方や態度を振り返る機会にもして下さい。

C - 1 行政学『保育園不足の解決に向けての行政の取り組み』 【有馬 晋作 教授】

行政とは、国や県、市町村など役所を言います。行政学とは、役所の働きを研究する学問ですが、今回は、皆さんに身近な保育園を例にして、行政の活動を学んでもらいます。

都市部では、保育園に入所したいと待機している乳幼児が増えています。一方、今後の人口減少時代では、女性の社会進出を一層進めることが重要で、そのためには、子供を安心して預けられる保育園の増設が課題になっています。保育園は、市町村の事業ですが、国も基準を作ったり運営費用を補助しています。つまり皆さんに身近な行政サービスも、国が大きにかかわっています。この授業では、保育園を例に、国が皆さんといかに関係しているかを具体的に分かりやすく説明し、市町村と国の関係や、日本全体の行政の仕組みまで説明します。

C - 2 国際関係論『トランプ vs. クリントン 2016 年大統領選挙の行方』 【田中 宏明 教授】

アメリカ大統領選挙が今年11月にありますが、いままでの大統領選挙戦とちょっと違うところがあります。共和党の候補者のドナルド・トランプさんは過激な発言を連発してきましたが、いままででしたら大統領候補としてふさわしくないとみなされたのに、逆にどんどん人気が上がっています。それに対して民主党の候補者のヒラリー・クリントンさんは、大統領夫人（ファーストレディー）であり、上院議員、国務長官を歴任した本命の本命とみなされ、アメリカ最初の女性大統領として期待されているわりには、いまいち人気がありません。今回の大統領選挙戦をみながら、アメリカ政治の問題について考えてみましょう。